



読字 原田 鏡

No. 770

2015/ 7/15

日中友好新聞

発行所
日本中国友好協会
〒113-0033 東京都文京区
春日1-1-1807301室

日中友好協会
岡山支部
〒703-8256
岡山市東区3-8-30 514
TEL:0861272-3016
郵便番号119
01250-0-3835

日中友好協会
倉敷支部
〒713-8911
倉敷市遊島中央1-8-4
(宮地方)
TEL/FAX:0861416-2711

日中友好協会岡山支部ホームページ
<http://rizhong.biz/>
メールアドレス
rizhong86@hotmail.co.jp



日中友好協会岡山支部

二〇一五年総会

6月21日(日)、岡山市福祉交流プラザ旭東で岡山支部総会が開かれ15人が参加しました。

司会をかねて宇野支部長が開会のあいさつで、革新懇の沖縄との連帯集会は本土の革新との忘れられない出会いだったとの仲里利信さん(注一)の話を紹介し、一点共闘の大



切さを述べました。

続いて、国民救援会岡山県本部の竹原事務局長より、倉敷民商裁判の報告とともに、次のような来賓あいさつがありました。

元軍人の父親から聞いた戦争体験と戦後その記憶に悩まされている姿に接して、平和の大切さを実感した。自分の平和や人権にかかわる運動の原点である。また、日中友好運動については、安倍政権が「中国脅威論」を口実に「戦争法案」を推進していることとして、進んでいこうとしているだけに、今こそ出番ではないかと強調されました。

このあいさつを聞いて、日中不再戦のとりくみとともに、理解は絆を強くする。をテーマに実施される第二回中国百科検定をぜひ成功させたいと思いました。

総会は、参加者の自己紹介のあと、例年通り担当役員が議案の説明をしました。途中で曾田理事から中国百科検定のとり

くみ状況や教科書採択の現状など全国大会の報告がありました。

議案は、二〇一四年度の活動報告及び二〇一五年度の活動のすすめ方、予算案を一括して拍手で承認しました。

新役員を選出後、小林事務局長より、当面する「戦争法案」に反対する県内の諸行動および日中岡山支部独自の盧溝橋事件七八周年街頭

日中友好協会岡山支部総会に参加して

犬飼 繁

もっと若い人に加わってほしい

6月21日、日中友好協会岡山支部総会に参加しました。わたしは倉敷支部の所属ですが、小林先生に誘われて参加しました。最初に受けた印象は、大変失礼ながら高齢の方が多いなあとということでした。もっと若い人に加わってほしいと思いました。報告を聞くと、この1年以上ホームページは更新できていないということですが、年齢的にパソコンをてきぱきと扱うことができるような世代の方はほとんどいないのかなと思いました。私が一番若い世代かと思いま

宣言への参加要請を確認して、総会を終了しました。

なお、総会に先立ってDVD「泥にまみれた靴」を視聴しました。

(注一)昨年12月の総選挙・沖縄四区でオール沖縄の共同で自民党候補を打ち破り当選しました。

つぎに総会に初めて参加した犬飼繁さんの感想文を掲載します。

ですが、私もパソコンはあまり得意ではありません。ホームページの更新では、あまりお役に立てそうもありません。昨年、日中友好協会岡山支部や倉敷支部のホームページを見たのですが、何年も前の古い記事はたくさんあるのに、最近の出来事やこれからの予定などが掲載されていない。仕事に忙しいこともあって、会員になるのが遅れてしまいました。今回参加してなるほどなあ」と納得しました。

もっと早く帰国者支援にかかわっていたなら

帰宅して毎日新聞を読んでみると、不屈の人、国動かす。残留孤児帰国導いた山本慈昭さん」という記事に目が留まりました。今年一月、ある僧侶の生涯を描いた映画『聖郷の鐘』が封切られた。という記事を見て、ああ、今日総会で聞いた映画はこれのことか」と思い、記事を読み耽りました。

中国を仮想敵国とした戦争法案を廃案に

さて、国会に参考人として呼ばれた憲法学者3人が3人とも安保法制を憲法違反と言いつつ切りました。ここから明らかに潮目が変わってきています。中国を仮想敵国としたこの法案は何としても廃案に追い込まなければなりません。若い人たちも立ち上がって、デモや集会を開いていきます。先日は2万5千人が国会を取り巻いたという報道もありました。この法案を廃案に追い込み、辺野古に基地は作らせず、安倍内閣を退陣に追い込むまで運動を続けましょう。

帰国者が高齢化する中で日本語が話せないから介護施設利用を敬遠している」という。長野県の飯田市にできた通所型介護施設「羽場赤坂デイ」の施設長、馬場田正美さんは孤児2世の夫と15年前に来日し、定時制高校に通って日本語を覚え、介護の仕事についたそうです。この施設には中国語を話せる常駐スタッフが3人います。こういう記事を読んで、もっと早く帰国者支援にかかわってい

中国百科検定

検定実施
2015年9月27日(日)

実施会場
岡山国際交流センター

申し込み締め切り
2015年8月7日(金)

受験コース
3級(ものしりコース)
2級(中国通コース)

併願不可
受験料

3級3500円
2級4500円

ぜひこの機会にチャレンジしてみてください。

第2回中国百科検定締切（8月7日）迫る

岡山商科大学孔子学院を訪問

日中岡山支部の竹内理事長と小林事務局長は、6月29日の午後、中国百科検定の協力要請に次の3か所を訪問しました。

最初は、検定会場の岡山国際交流センターです。ここでは、一階の展示場所にポスターの掲示と百科検定の3点セット（チラシ・申込書・実施要綱）を50部をおかせてもらいました。

最初は、中国四川料理の又来軒です。経営者が中国帰国者で、日中関係の会合でもよく利用しているので、ポスターと3点セット50部をおねがいしました。

最初は、検定会場の岡山国際交流センターです。ここでは、一階の展示場所にポスターの掲示と百科検定の3点セット（チラシ・申込書・実施要綱）を50部をおかせてもらいました。6階の岡山県華僑華人総会（会長・劉勝徳）の事務所では、3点セット50部を預

最後は、小林事務局長の教え子が教学部の職員として勤めている岡山商科大学です。この職員の案内で、孔子学院の事務局長兼参与の葉師寺祐介さんと面談しました。日中友好のために中国語講座

や小・中・高・大の相互訪問に力を入れている。ぜひ協力したいといわれ、ポスター及び3点セット100部（孔子学院50部・学生課50部）を預けました。今後孔子学院とは、日中友好の諸行事で交流できればと思いました。締切まで一か月を切りました、多くの人々に受験してもらうためにあらゆる手立てをつくしましょう。

七夕の折鶴の嫁入り先は南京

岡山空襲6・29をはさんで1か月、表町と駅前町に「もうひとつの七夕」の折鶴が舞っています。

去年まで大切に保存していた折鶴数千羽が海を渡りました。青木正美さん宅の天袋に大事にしまわれていたツルたちが、7月7日南京へ関空から羽ばたいていきました。

30年にわたり南京の三江大学で、二ホン語を教えてこられた、曾田夫妻が日本に引きあげてきます。わたしたちのツルたちが、中国の死者たちをいたむ場に「悼念、日中不再戦、日中友好協会、岡山支部」の紙飾りとともにそなえられることになりました。

竹内



ぼくは忘れない（2）

竹内和夫

- ・亀戸天神の多喜二もわたった太鼓橋、四つんばいでのぼった幼いころのことを。
- ・亀戸事件で軍隊に刺殺された10人の、若い先進的南葛労働者のことを。
- ・わが家に落とされた6角柱の焼夷弾5発のことを。
- ・母がせつせとたくわえていた四斗樽の米の黒こげの山のことを。
- ・赤門寺の「花まつり」（4月8日）で、ちいさな釈迦像に甘茶をかけた幼かったころのことを。
- ・小学校の親友、三枝照雄と、父の弟一家、あの大空襲で一家全滅だったろうことを。

1万人アピール運動院内集会に参加して

日中友好協会倉敷支部 難波娃子

私は6月2日衆議院第一議員会館内で開かれた全退教の表記集会に参加しました。そこでの発言者5名（男2名・女3名）男性92歳を筆頭に88歳・84歳・79歳・72歳という年齢には、圧倒されました。とにかく皆さんお元気でした。つかり発言され、さすが選ばれた方々と思えました。特に印象に、のこった野嶋盛次郎さん92歳の発言をとりあげます。

戦前・戦中の徹底した、軍国主義教育を受けた師範学校生活、予備士官学校に入隊。敗戦の勅書を受け入れず、赤城山にたてこもって、最後まで米軍とたたかうと決意していた。こうした愚かな青少年時代を過ごした私に、平和と民主主義の大切さを教えてくれたのは、教職員組合運動であった。教え子たちに自分のような愚かな人生を送らせてはならない、「教え子を再び戦場に送るな」と本気で取り組んだ。

障害のある子供たちの障害児学級づくりに取り組み、新設させ、担任として22年間勤務。障害はその人の個性である。地域で「保谷市障害者福祉を進める会」を結成し、事務局長として障害者運動に取り組み、その後、都退教の役員になり、1991年から会員（その主人公の都退教の会長を7年間務め、支部退教づくりに取り組む。全退教の結成にもかかわる。現在、介護度4の妻の介護と地域のごみ問題、福祉のまちづくり活動に参加。北多摩東退教の仲間と共に、若い人に支えられながら、憲法9条を守り、民主主義を育てる活動）に参加し、国民運動を育てる、若いかたに期待しています。「ずいぶん活躍され、ご高齢にかかわらず何事にも先頭に立って、活動されておられることに敬意を表しますと共に私は一回りも違う若さなので、後もつともっと努力し活動しなくてはと反省したところです。

今までに参加した全退教定期総会とは、全然違う感じで年齢には関係なく若い人顔負けの会議の雰囲気でした。分科会での協議の内容は各退教の共通している問題。会員ふやし、活動のあり方や、財政のやりくり、どこも同じだなあと思いました。

次の新聞送付作業は7月21日（火）午後1時半から民主会館2階で行います。前回お手伝いくださった方です。

石川 葉林 和製
小竹 内井 三垣
竹内 坪井 三垣